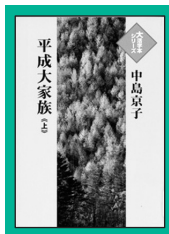


読書を助ける資料・機器



拡大読書器(3F)

- **拡大読書器【3F】** モニター画面に文字などを大きく映し出すことができます。そのほかに、各階カウンターに拡大鏡、老眼鏡も備えています。
- **筆談器** 各階カウンターに、聞こえが不自由なことを示す「耳マーク」の表示板を設置し、筆談による対応をしています。筆談器も備えていますのでご利用ください。
- **大活字本【3F】** 小さな活字が読みにくい方のために、通常より字を大きく印刷した大活字本を約2,000冊所蔵しています。
- **朗読CD【1F AV室】** 音楽だけでなく、文学の朗読や、文化人の講演、健康についてなどのCDも約800点を所蔵しています。愛知・岐阜・三重の図書館(対応館はお尋ねください)を通じた貸出も行っています。



『平成大家族』(大活字本シリーズ)上・下 中島京子/著 埼玉福祉会(2012)

たとえばこんな資料があります

CD 『源氏物語』第一集～七集 円地文子/訳 竹下景子/朗読

来館できない方へのサービス

お近くの図書館を通じたサービスとして、次のようなものがあります。

- **協力貸出** お近くの図書館まで愛知県図書館の本をお届けするサービスです。
- **遠隔地返却制度** 愛知県内で、当館までお越しいただくのに時間や交通費が特に多くかかる地域の方を対象に、愛知県図書館で借りた資料を、お近くの図書館などで返却できるサービスです。対象館は東三河全域と、西三河・知多地域の一部です。
- **郵送複写** 著作権の範囲内で、所蔵資料の複写物をお送りします(有料)。

● レファレンス(調べもの相談)

電話・郵便(手紙やはがき)・FAX・電子メールでも受け付けています。お気軽にご相談ください。

* 調査相談専用電話 (052)212-3200 FAX (052)212-3674
メールレファレンスはホームページからお申し込みください。



● コラム ● 点字ブロックの役割

駅のホームや道路、建物の中で、凸凹のある黄色いブロックが線状に並んでいるのを見かけます。いわゆる「点字ブロック」です。このブロックは視覚障害者が安全に歩くためのもので、視覚障害者は足の裏や白杖で確かめながら、これを頼りに歩いています。

もし、この上に自転車や車、荷物などが置かれていたら…気づかずにぶつかって怪我をしてしまうこともあります。街を歩くと、点字ブロックの上に停めてある自転車などを見かけますが、これは視覚障害者にとってはとても怖いことです。ぜひ身近な駅や道路で点字ブロックを意識して生活してみてください。



地下鉄丸の内駅のホームから愛知県図書館の中まで点字ブロックで繋がっています。